

国 語

今年度の出題形式と講評

本番の入試にのっとり、大問三題形式（説明文・小説・知識問題）の出題としました。今回のプレテストは、昨年にくらべてやや難しめの出題にしました。全体的に素直な出題を心がけましたが、まとめる問題は難しく感じたのではないのでしょうか。これを機会に、長めの記述問題の練習をしてみてください。たとえ難しく感じて、本文をよく読み解答を書いてみるのが大切です。入試本番でも記述問題には部分点があります。頑張ってください。

採点を終えて言えるのは、乱雑な字の答案が目立ったことです。トメ・ハネの雑なものや字形のくずれているもの、続け字で書いたものなどが多く見られました。もう少しでいねいに字を書くように心がけて下さい。また、書き取り問題以外でも雑で読めない字があり減点しました。これらの減点は防げるものなので、日頃から字をていねいに書く習慣をつけて下さい。

全体としてのできはあまり良くありませんでしたが、落ち込むことはありません。少しの注意で減点されずに済んだ答案もたくさんありました。句点が抜けていたり、文末表現に不備があったりしましたが、すぐに改善できるミスです。本番までにしっかり練習をすることで、さらに高得点をとれるように努力して下さい。原則として、本文に書かれていることしか問いませんので本文をよく読んで答えるようにして下さい。特に記述問題では、

本文の中で答えになりそうな部分を見つける、問いで求められている答え方と字数に合わせてまとめる、という手順を意識して解答するようにして下さい。また、解答にふさわしい表現（書き言葉）で解答することも忘れないようにして下さい。

解説

□ 説明文『屈折万歳！』 小島慶子 著

自立するとは、他者を完全に理解することはできないのだということを前提にして、コミュニケーションに努めることだと説く。筆者の考え方をできるだけ客観的に読み取るようにしよう。

問一 空所補充

前後をていねいに読めば、それほど迷わなかったはずですが。Aの前の内容は、3行目～5行目をふまえると、たくさん人間関係の中で生きているが、必ずしもわかり合えるわけでもないし、わかり合えなくても楽しく過ごしているという内容です。その後6行目～9行目まで学校や部活の人間関係、家族との関係でも同様であることが述べられています。それをふまえてAの後は「それでは不安なのも人間です」とつながっています。わかり合えないのは当たり前、□ A □それでは不安、というつながりですので、逆接が入ることになります。正解は「ア」。Bの前では、自分とは関係のないことで他人は怒ったり機嫌をよくしたりするものだから、その感情の動きを理解することはできないし、する必要もないという内容です。それをふまえてBの後を読めば、そのような感情の起伏があっても気にせず大変だったねと共感を示せばよいという内容につながっています。空欄前の内容をそのまま踏まえているので順接「だから」を入れるのが適当です。正解は「エ」。A・Bともに良くできていましたが、ややBの正答率が低いように感じられました。配点は2点×2。

問二 内容説明（空所補充）

空欄を含む一文をしっかり読むことが大切です。「他人もまた、□ 1 □のだ」とあるので、「もまた」に注目すれば、前に同じような内容があることに気づけるはずです。前には「私は私の身体と人生以外は生きられない」とあるので、これと並列にしても不自然ではないものを正解とします。正解は「ウ」。あまりできは良くなかったです。配点は5点

問三 内容説明（抜き出し）

設問をよく読んでヒントをつかむようにしましょう。どのようなときに「精神的に自立する」のかが問われているので、「どのようなとき」にふさわしいものを探さなければなりません。12行目の「～～ときが、私にとって『自立』が出来たときでした」をがんばって見つけて下さい。ここでいう『自立』が「精神的に自立」と同じであるとわかれば、この一文が正解であると気づけるでしょう。あとは、字数に気をつけて抜き出します。正解は「目の前の人と向き合えるようになったとき」。できはあまり良くなかったです。とりあえず、すぐ近くを抜き出せばよいというわけではないので、よく問題を読み、その指示に従うことが大切です。また、正解の箇所を発見していても解答欄に書く際に書き間違えたり勝手に句点を入れたりしている答案がありました。正確に本文通りに抜き出して下さい。配点は6点。

問四 内容説明

傍線部を含む一文を読み直すことが重要です。そうすれば、「考えもしなかった側面を見せられる」「関係が近い」の二点が理解できるはずです。これを説明できている選択肢は「イ」。良くできていました。配点は5点。

問五 内容説明

これも傍線部を含む一文をしっかりと読むこと。傍線部の内容から考え始めると「結局、自分を否定することに」つながるといった内容が読み取れます。「自己否定につながる」という内容に触れている「エ」が正解。良くできていました。配点は5点。

問六 内容説明

「コミュニケーション力についてあれこれ言われますが、～～決して『失敗しない人』ではない」というつながりをしっかりと読めば、44行目「むしろ」以降に説明があるはずだと判断できます。すると46行目に「結果コミュニケーション能力、つまり」という表現があるので、ここが解答のポイントであると気づけるでしょう。字数におさまるように端的にまとめて下さい。正解は「相手と自分の違いをわかった上で、一緒に何か出来ないかを考えて提案する力。」。よくあった間違いは、本文の口語調（会話調）のまま抜き出してきたものです。書き言葉になおして説明するようにして下さい。配点は8点。

問七 内容説明

傍線部を含む一文を確認すると「どうにも合わない人とは離れて、遠くから労るというのも」とあるので、「も」に着目すれば、「合わない人と離れて遠くから労るという流儀」があるのだが、さらにもう一つ本質的な流儀があるので、「も」という副助詞が使われていると判断できます。44行目以降の「失敗する人がコミュニケーション上級者」「諦めずにいろいろな工夫を凝らして～人と向き合っていく」などという内容をふまえるともう一つの流儀とは、「試行錯誤しながらコミュニケーションの努力をするという流儀」だと理解できます。したがって、筆者の結論としては、「試行錯誤しながらコミュニケーションの努力をし、どうしても合わないときは離れて遠くから労る」という内容になると判断できます。ただし、設問をよく読めば「本文全体の内容をふまえて」という条件がついていますので、さらに本文全体から補足する内容がないか確認します。この本文全体のテーマは、「人と人は理解し合えるという思い込みから自由になる」ことでした。それこそが自立であるということです。つまり、理解し合えるとは限らないが、それでも試行錯誤しながらコミュニケーションをとっていくというのが、本文全体をふまえた流儀の内容になると考えられます。これらを字数内におさまるように簡潔にまとめると解答が出来上がります。正解は「人と人は理解し合えるという思い込みから自由になり、試行錯誤しながらコミュニケーションを続け、努力しても合わない人とは離れて遠くから労るという流儀。」。模範解答の後半部分に関してはよく書いていましたが、前半を書いている答案は少なかったです。本文全体をよく考えて解答して下さい。短い文を並べただけの答案もありましたが、これぐらいの文字数であれば、一文で書くべきです。まとめる練習をしましょう。また、読点を打っていないために非常に読みにくい答案もありました。自分の答案は必ず一度読んでみて、文意が通るかどうか確認してみてください。配点は12点。

□ 小説『羊と鋼の森』 宮下奈都 著

調律師として働いている僕が自分に足りないものに考えを巡らせている場面。柳さんとのやりとりを通じて僕が何を考えているのか、何を感じているのか、その心情の移り変わりを客観的に読み取って欲しい。

問一 空所補充

文脈から容易に判断できます。慣用的な表現の学習をしておきましょう。正解は「ウ」。比較的良くできていました。配点は3点。

問二 心情説明

(1) ここでの柳さんの心情を考える問題です。2行目「気を落とすなよ」とあることから僕を励ましていることが読み取れます。その内容があるのは「ア」か「エ」です。しかし、「エ」は「お客さんを失ってしまった」という内容が本文から読み取れないので間違いです。正解は「ア」。あまりできは良くありませんでした。配点は3点。

(2) 6行目の「気を遣わせて悪いなと思う」に気付けばよいでしょう。しかしそれだけではなく、本文を最後まで読んだ上で解答しなければなりません。65行目以降を参考にすれば、やはり自分に何か足りない部分があったのではないかと考えを巡らせています。それをふまえている「オ」が正解。あまりできは良くありませんでした。配点は3点。

問三 理由説明

11行目の柳さんのセリフを受けて「えっ？」と聞き返しているときの心情を考えれば、当然「驚いた」ということがわかるでしょう。それは傍線部直後の「柳さんも驚いたように」とあることから判断できます。では、何に対して驚いたのかを補足すると、14行目「無駄かどうかは、考えたことがありませんでした」という内容から「無駄かどうか考えたことがないのに、無駄じゃないと励まされたこと」に対して驚いたと説明できます。正解は「がんばることが無駄かどうか考えたことがなく、思いも寄らないことを言われて驚いたから。」。できは良くありませんでした。主述関係が不明になってしまっている答案や口語表現をそのまま用いてしまっている答案は減点対象にしました。配点は6点。

問四 理由説明

まず「一足飛びに行けたなら」という表現は比喩であることに注意しましょう。同じ内容が41行目にあります。「もしも調律師の仕事が個人種目なら」「飛び道具」を使ってもいいし、「タクシー」を使ってもいいと説明されています。しかし、「個人種目」ではないので、「一足飛びに」いくことができないのでどうするかについては43行目以降を参考にします。「ひとりでは完成しない」「弾く人がいて、初めて生きる」「徒歩でいくしかない」「演奏する誰かの要望を聞く」「一歩ずつ、一足ずつ、確かめながら近づいていく」などを参考にして解答を考えます。正解は「イ」。比較的良くできていました。配点は4点。

問五 内容説明

適当でないものを選ぶことに注意しましょう。65行目～70行目までをしっかりと読もう。正解は「エ」。できは良くありませんでした。配点は4点。

問六 内容説明

(1) 心情説明

92行目を参考にしよう。「やっぱり、と思う」「必要だと言われて逆にほっとした」を参考にすると、「才能が必要だと言われれば普通は落ち込むはずだが、正直に言ってもらえて逆にほっとした」という内容になります。これを補足する形で、さらに解答になりそうな内容を見ると、「なぜほっとしたのか」「どのようなことに対してほっとしたのか」などを探します。参考にできるのは94行目～98行目の内容です。才能がないなどと言えるほど自分はまだまだ努力してきていない、才能が足りないのであれば経験や情熱などで補わなければならない。将来どうしても才能の不足を感じる事があれば、そこで初めてあきらめればよい、などという内容を把握しましょう。これを整理して、「ほっとした」という心情にうまくつながるよう

に合成します。正解は「自分は才能が試される段階にさえ到達しておらず、才能以外では置き換えられないものがあると気づくまでは努力しようと考え、落ち込むどころか逆にほっとした気持ち。」。難しい問題でしたので、全体的にできは良くありませんでした。いくつもの文をつなげただけの答案が多く見られました。口語表現やら抜き言葉など解答にふさわしくない表現も多く見られ、基本的な解答の仕方が身につけていない答案が多いように感じられました。配点は12点。

(2) 心情説明(抜き出し)

柳さんの考えを抜き出すので、柳さんのセリフを中心に探そう。99行目のセリフ「才能とは」がヒントになります。正解は「ものすごく好きだっていう気持ち」。できは良かったですが、本文の写し間違いがありました。注意して下さい。配点は5点。

問七 内容合致

それぞれの選択肢にまちがいがいがないかどうか、検討していこう。「ア」は「解決方法を示す柳さん」の部分がまちがっています。「イ」は「怖さがなくなり」が明らかになまちがいです。「エ」は「客からしかられたことで調律することが怖くなった」がまちがっています。「オ」は「一人前の調律師になる」が明らかになまちがいです。正解は「ウ」。できは悪く、「ア」や「エ」の間違いが多かった印象があります。本文に根拠を求めることなく、何となく感覚で解答しているのではないのでしょうか。気をつけて下さい。配点は5点。

三 漢字の読み書き・言葉の意味・熟語

問一 漢字の書き取り

正解は「花粉」「画面」「届」「株式」「並木」。全体的によくできていましたが、トメ・ハネなどに注意して、ていねいに書くように心がけて下さい。また、最初に書いたものをしっかりと消さずに書いたために、画数がおかしく見える字や一画で書くべきものを途中から書き足したような字もありました。しっかり画数も意識して答えるようにして下さい。は「粉」の「刀」の部分が「力」になっている間違いがありました。

は送り仮名を書き間違えた答案がありました。また「便」「留」と書いていたものも多く見られました。は「武」などの似ている字の間違いが見られました。配点は2点×5。

問二 漢字の読み

正解は「かいじ」「きゅうきょく」「はな」「いくせい」「まく」。を「かいし」としている間違いがありました。全体的によくできていました。配点は2点×5。

問三 語句の意味問題

正解は「ウ」「エ」「イ」。のできが良いありませんでした。は良くできていました。日ごろから辞書を活用して、言葉の意味を知るようにして下さい。配点は2点×3。

問四 誤字訂正

正解は、「新 心」「準 順」。採点は、正誤完答です。「新」の間違いに気付いても正解の「心」を書いている答案は多くなかったです。「進」「親」などの間違いがありました。は良くできていました。配点は2点×2。

算 数

1 各5点×6問=30点

<解答> (1) 4 (2) 690 (3) 6.25 (4) $\frac{10}{31}$ (5) $1\frac{17}{22}$ (6) $1\frac{29}{30}$

<解説>

$$(1) 20 \times 23 + 38 \times 23 - 42 \times 23 + 32 \times 23 - 18 \times 23 = 23 \times (20 + 38 - 42 + 32 - 18) = 23 \times 30 = 690$$

<講評>

(4) では $\frac{31}{10}$ という解答が多くありました。分数で割るときに逆数の掛け算になることをミスしていませんか？

しっかり確実に計算出来るように練習しておきましょう。

2 各5点×6問=30点

<解答> (1) 6 (2) 144 (3) 6 (4) 92 (5) 8 (6) 220

<解説>

(5) $\frac{1}{7} = 0.1428571428\cdots$ より、142857の繰り返しになります。

小数第46位の数字は、 $46 \div 6 = 7\cdots 4$ より8となります。

(6) 2日目までに読んだページ数の合計は全体の $\frac{2}{5} + \frac{3}{5} \times \frac{5}{6} = \frac{9}{10}$ となります。

これより、残り22ページは全体の $\frac{1}{10}$ にあたります。全体は $22 \div \frac{1}{10} = 220$ ページになります。

<講評>

全体的に良く出来ていましたが、(4)の過不足算の問題が出来ていない人が多かったです。復習しておきましょう。

3 3点+5点+5点=13点

<解答> (1) 30度 (2) 3cm (3) 6.15 cm^2

<解説>

(3) 三角形OAB：図2の三角形

斜線部分の面積は、

相似比 3 : 1

$$1.73 \times 9 - 3 \times 3 \times 3.14 \times \frac{120}{360} = 15.57 - 9.42 = 6.15 \text{ cm}^2$$

面積比 9 : 1

<講評>

全体的にあまり出来ていませんでした。相似な図形の相似比・面積比の復習をしておきましょう。

4 各5点×3問=15点

<解答> (1) 1800m (2) 1020mの地点 (3) 6分間

<解説>

(2) (3) 分速80mの速さで進んだのは3分間なので、その距離は $80 \times 3 = 240 \text{ m}$ となります。

このことより分速60mと分速90mの速さで進んだ距離の合計は、 $1800 - 240 = 1560 \text{ m}$ です。

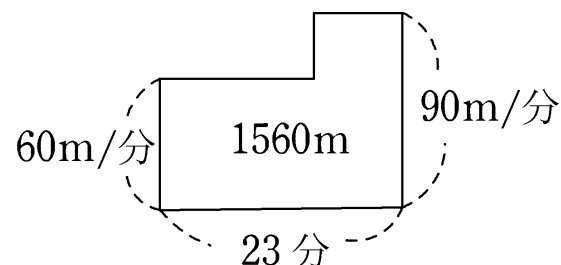
右の面積図より分速90mで進んだ時間は

$$(1560 - 60 \times 23) \div (90 - 60) = 6 \text{ 分間}$$

これより、分速80mの速さにスピードアップしたのは、学校から

$$60 \times (23 - 6) = 1020 \text{ m}$$

の地点とわかります。



<講評>

(1) は良く出来ていました。(2) (3) は出来ている人とそうでない人との差が大きかったです。

5 各3点×6問=18点

<解答> (1) 20 cm (2) 10 cm (3) 60 (cm²) (4) 30 (秒) (5) 毎秒 $\frac{2}{3}$ cm (6) 36 (秒)

<解説>

(2) 20秒後の三角形ADPの面積が100 cm²より、ADの長さは $100 \div \frac{1}{2} \div 20 = 10$ cm となります。

(3) 12秒後の三角形ADPの面積なので、 $\frac{1}{2} \times 10 \times 12 = 60$ cm² となります。※相似形を使う解き方もあります。

(4) 右の相似形より(イ)は $12 \times \frac{5}{2} = 30$ (秒) となります。

(5) 点Qは30秒後に点Dにいるので速さは、

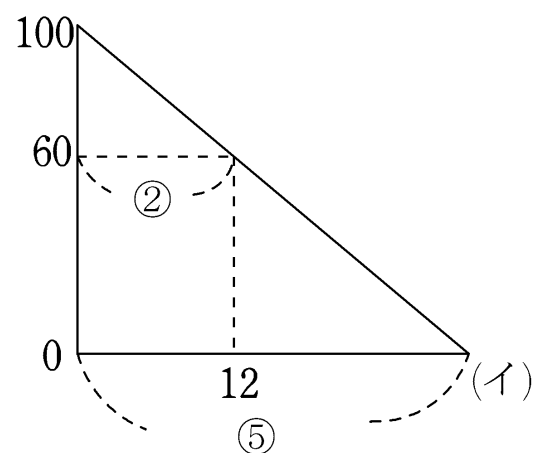
$$20 \div 30 = \frac{2}{3} \text{ cm/秒 となります。}$$

(6) 30秒後には、点Pは辺ABの真ん中の地点にいて、点Aの方向へ向かいます。

また、点Qは点Dの地点にいて、点Cの方向へ向かいます。

(ウ)はPQがAD(BC)と平行になったときの時間なので、

$$30 + 10 \div \left(1 + \frac{2}{3}\right) = 36 \text{ (秒) とわかります。}$$



<講評>

出来ている人とそうでない人との差が大きかったです。水量の問題や動点の問題などのグラフを読み取る問題をしっかり出来るように練習しておきましょう。

6 各2点×7問=14点

<解答> B: 1 C: 2 D: 5 E: 3 F: 4 G: 7 H: 6

<解説>

Cの会話から、Cは2または6の席に座っていたことがわかります。

① Cが2の席のとき、Hの会話からHは6の席

B, Dの会話から、Dは5の席でBは1の席 または Dは7の席でBは3の席 とわかります。

(ア) Dは5の席でBは1の席のとき

(イ) Dは7の席でBは3の席のとき

Fの会話から、Fは4の席でEは3の席

Fの会話から、Fは5の席でEは4の席

→Gは7の席

→Gは1の席 <Gの会話から間違い>

<A, E, Gの会話の内容と合っているので正解>

② Cが6の席のとき、Hの会話からHは2の席

B, Dの会話から、Dは1の席でBは5の席 または Dは3の席でBは7の席 とわかります。

(ア) Dは1の席でBは5の席のとき

(イ) Dは3の席でBは7の席のとき

Fの会話から、Fは4の席でEは3の席

Fの会話から、Fは5の席でEは4の席

→Gは7の席 <Gの会話から間違い>

<Eの会話から間違い>

<講評>

この問題も出来ている人とそうでない人との差が大きかったです。最初にCの会話に注目することがポイントです。Cの席で場合分けをして考えていきますが、さらにその中で場合分けがあるので難しい問題だったと思います。解説を読んでしっかり復習しておきましょう。

理 科

今年度の出題形式と講評

出題形式としては、物理分野、化学分野が大問 2 題ずつ、生物分野、地学分野が大問 1 題ずつの計 6 題です。(例年、この形式で出題しています。)どの分野に関しても、基本的な事項についての出題ですので、小学校で習った理科をしっかりと復習しておくことが大切です。[4]のよう解度についての問題は、例年出題しているのですが、できていない人が多くいました。毎年のように出題しているこの分野の対策をしておきましょう。また、今年は[6]の岩石の分類に関する問題をできていない人が多かったです。基本的な知識をあいまいにしておかず、きっちり習得しておきましょう。

対策 過去に出題した問題を必ず解きましょう。本校の入試問題は、基礎・基本問題を中心に出版しています。入試用の参考書、問題集などの基本問題を中心にしっかりと勉強しておきましょう。

1 講評 問 1、3 はよく出来ていましたが、問 2、4 の正答率は高くありませんでした。1 つ 1 つのコイルにできる磁場の向きと強さを丁寧に考えるようにしましょう。

解答 問 1 N 極 (2 点) 問 2 C、E、F (3 点) 問 3 E (2 点) 問 4 B (2 点) F (2 点)

解説 問 1 右ねじの法則より N 極となります。

問 2 右ねじの法則より C、E、F の磁場の向きが A と同じとなります。

問 3 巻き数が多く、鉄しんが入っている E の磁場が最も強くなります。

問 4 B と同じにするためには、磁場の向きはそのままに、強さを弱くする必要があります。よって が適当です。F と同じにするためには、磁場の向きは逆向きに、強さをそのままにする必要があります。よって が適当です。

2 講評 問 1、問 4 はよくできていました。問 2、問 3 に関しては、表を読み取り規則性を見つけられるようにしましょう。問 5 は同じ高さであれば、おもりのもつエネルギーの大きさが同じであることを確認する問題でした。

解答 問 1 ウ(3 点) 問 2 1.7 秒(3 点) 問 3 50 cm(3 点) 問 4 6.4 cm(3 点) 問 5 イ(3 点)

解説 問 1 実験 1 より、周期はおもりの高さに関係しないことがわかります。また、実験 3 からは周期はおもりの重さに関係しないことがわかります。実験 2 では、糸の長さが 4 倍になると周期が 2 倍になっています。よって、間違えているものはウとなります。

問 2 実験 3 より、糸の長さが 75cm のときの周期は 1.7 秒であることがわかります。

問 3 実験 2 より、糸の長さが 4 倍になると周期が 2 倍になっていることがわかります。糸の長さが 200cm のとき周期が 2.8 秒なので、周期が 1.4 秒のときの糸の長さは $200\text{cm} \div 4 = 50\text{cm}$ となります。実験 2 の糸の長さが 25cm、100cm、400cm のときの周期との関係を用いると、周期が 1.4 秒のときの糸の長さは 49cm となります。また、糸の長さが 300cm のときの周期の関係を用いると、周期が 1.4 秒のときの糸の長さは約 50.86cm となります。これらの場合も正答としました。

問 4 測定結果より、おもりの高さとおもりが移動する距離は比例関係にあることがわかります。おもりの高さが 20cm のとき 3.2cm 木片が移動するので、おもりの高さが 40cm のときの木片が移動する距離は、 $3.2\text{cm} \times 2 = 6.4\text{cm}$ となります。

問 5 おもりの高さと同じであればおもりがもつエネルギーの大きさは同じです。も もおもりの高さは同じなので、木片が移動する距離はかわりません。

3 講評 この問題は、よくできていました。

解答 問 1 A (イ)(2 点) B (エ)(2 点) C (ウ)(2 点) D (カ)(2 点) E(ア)(2 点) 問 2 酸素(2 点)

解説 実験 1 より、緑色の BTB 溶液が黄色になったので、B は酸性です。酸性を示す溶液はうすい塩酸です。

実験 2 より、選択の中で二酸化マンガンと反応するのは、うすい過酸化水素水です。その結果発生する気体は、酸素です。実験 3 より、赤リトマス紙が青色に変化するの、アルカリ性の溶液です。アルカリ性を示す A、E は、うすいアンモニア水溶液か、うすい水酸化ナトリウム水溶液となります。実験 4 より、C の水溶液を加熱し、水を蒸発させると黒色になっているので、加熱により砂糖が炭化していると考えられます。よって C はさとう水です。実験 5 より、アルカリ性を示す A の水溶液は、加熱して蒸発させると何も残らないことより、気体であるアンモニアが溶けていたと考えられます。よって、A はうすいアンモニア水で、E は、うすい水酸化ナトリウム水溶液であることがわかります。

4 講評 毎年出題している問題です。あまりできていませんでした。水溶液、水、溶かしているものの重さの間で比を取りながら計算できるようにしておきましょう。

解答 問1 78 g(3点) 問2 60 g(3点) 問3 3.9 g(3点) 問4 60 g(3点) 問5 再結しょう(3点)

解説 問1 40 における塩化ナトリウムの溶解度は39です。 $(\frac{\text{塩化ナトリウム}}{\text{水}} = \frac{39}{100})$ 塩化ナトリウムが最大

溶ける質量を [g]とおくと、 $\frac{\text{塩化ナトリウム}}{\text{水}} = \frac{39}{100} = \frac{\quad}{200} = 78[\text{g}]$ となります。

問2 10 における硝酸カリウムの溶解度は20です。 $(\frac{\text{硝酸カリウム}}{\text{水溶液}} = \frac{20}{100+20})$ 硝酸カリウムが溶けてい

る質量を [g]とおくと、 $\frac{\text{硝酸カリウム}}{\text{水溶液}} = \frac{20}{100+20} = \frac{\quad}{360} = 60[\text{g}]$ となります。

問3 蒸発した10[g]の水に溶けていた塩化ナトリウムが溶けきれなくなります。溶けきれなくなった塩化ナ

トリウムを [g]とおくと、 $\frac{\text{塩化ナトリウム}}{\text{水}} = \frac{39}{100} = \frac{\quad}{10} = 3.9[\text{g}]$ となります。

問4 硝酸カリウムの溶解度は70 で140 $(\frac{\text{硝酸カリウム}}{\text{水溶液}} = \frac{140}{240})$ 10 において20 $(\frac{\text{硝酸カリウム}}{\text{水溶液}} = \frac{20}{120})$

です。70、120[g]の飽和溶液を10 に冷やしたときに溶けきれなくなる硝酸カリウムを [g]とおくと、 $\frac{\text{析出する硝酸カリウム}}{\text{水溶液}} = \frac{140 - 20}{240} = \frac{\quad}{120} = 60[\text{g}]$ となります。

5 講評 問1、2はよくできていました。問3の(1)の正答率が低く、特徴による植物のなかま分けをできるようにしましょう。

解答 問1 (3点) 問2 (3点) 問3 (1)(エ)(3点) (2)(ア)(3点) 問4 (3点)

解説 問1 スギは大量に花粉をつくり、風によって花粉が運ばれます。このような花を風媒花ふうばいかと言います。

問2 スギは細長く、とがった葉を持っています。

問3 (ア)ヤクシマゴケ：コケ植物 (イ)ヤクシマシダ：シダ植物 (ウ)ヤクシマアジサイ：双子葉類

(エ)ヤクシマダケ(ヤクザサ)：単子葉類

(1)コリヤトウモロコシは単子葉類です。 (2)コケ植物は道管や師管をもちません。

問4 サトウキビは、沖縄などの亜熱帯で見られるよく植物です。サボテンの中には亜熱帯でも生育するものもいるため、サボテンも正解としました。

6 講評 基本事項中心の問題でしたが、正答率が高くなりませんでした。基礎・基本を大切に、演習を繰り返してください。

解答 問1 (2点) 問2 (2点) 問3 (2点) 問4 (2点) 問5 (2点) 問6 c(2点)

解説 問1 溶岩が冷え固まった岩石を火成岩といい、火成岩は冷え固まり方によって、以下のように分類することができます。

深成岩：マグマが地下深くでゆっくり冷え固まった岩石。例 流もん岩、安山岩、げんぶ岩

火山岩：マグマが地表近くで急に冷え固まったできた岩石。例 花こう岩、せんりよく岩、はんれい岩

問2・問3・問4 土砂などのたい積物が押し固められてできた岩石をたい積岩と言います。たい積岩には、以下のようなものがあります。れき岩：粒の大きさが2mm以上のれきが押し固められた岩石。

砂岩：粒の大きさが0.06~2mmの砂が押し固められた岩石。でい岩：粒の大きさが0.06mm未満のねん土やどろが押し固められた岩石。石灰岩：サンゴや貝などの遺がいいが押し固められた岩石。

ぎょう灰岩：火山灰などの火山噴出物が押し固められた岩石。

問5 火山岩は、小さい粒の間に大きい粒が散らばっている斑状組織はんじょうをしており、深成岩は大きな粒だけでできた等粒状組織をしています。

問6 石灰岩にうすい塩酸を加えると、さかんに酸素が発生します。

社 会

(第1問) 32点 問1~問3、問15~問21は2点。 他は1点。

- 問1 <答:イ> 世界の海洋は、主に太平洋・大西洋・インド洋の3つの大洋からなります。
- 問2 <答:赤石山脈> 「赤石」だけでなく、「赤石山脈」としっかりと答えましょう。
- 問3 <答:アマゾン川> 流域のアマゾン盆地は熱帯雨林気候で密林におおわれています。
- 問4〔ア〕<答:北海道> 北海道は野菜の生産が盛んです。その他に、かぼちゃ・大根・じゃがいもなども生産量が日本一です。
- 問4〔イ〕<答:茨城(県)> 茨城県は北海道に次いで農業生産額が多いです。れんこん・ごぼうなどの生産も有名です。
- 問5 <答:太平洋ベルト> 太平洋側で工業が発達した理由としては、平野にめぐまれ、気候も温暖であること。大都市がならび、労働力が豊富であること。大消費地が近いこと。港も発達し、輸出入に便利である、などです。
- 問6 <答:ウ> 四日市ぜんそくの原因は、石油化学コンビナートが出すけむりにふくまれていた亜硫酸ガスです。カドミウムは、イタイイタイ病の原因です。
- 問7 <答:イ> ・公正な裁判が行われるために、国会や内閣その他のいかなる権力も、裁判所に干渉や圧力を加えることは出来ません。
・裁判官は、国民審査・弾劾裁判・病気などによってしごとができなくなったと決定された場合は、やめさせられます。
・第一審から第二審への上訴が控訴、第二審から第三審への上訴が上告です。
- 問8 <答:ア> 総務省は行政組織や選挙・消防などに関するしごとをする機関です。
文部科学省は教育や芸術・科学技術に関するしごとをする機関です。
国土交通省は国土開発や交通に関するしごとをする機関です。
- 問9 <答:国民主権> 日本国憲法の前文と第1条で主権は国民にあると定められています。
- 問10 <答:条例> 地方議会が、条例の制定や改廃を行います。
- 問11 <答:ラムサール条約> 1971年にイランのラムサールで決まりました。
- 問12 <答:ウ> 1945年10月に国際連合が発足し、日本が加盟したのは1956年です。
- 問13 <答:オ> 世界保健機関の略称はWHOです。IMFは国際通貨基金の略称です。
- 問14 <答:ストックホルム> 正解の答えが少なかったのが残念でした。
- 問15 <答:ニューヨーク> よく正解できていました。
- 問16 <答:ア> フランスはヨーロッパ最大の農業国です。ヨーロッパ最大の工業国はドイツで、ルール工業地帯はドイツにあります。
- 問17 <答:ブラジル> オリンピック・パラリンピックが開かれたリオデジャネイロが有名ですが、首都はブラジルです。間違えないようにしましょう。
- 問18 <答:ウ> ふだんから地図帳を見る習慣を付けておきましょう。
- 問19 <答:ロシア> 「アラブ首長国連邦」との誤っている解答が多かったです。
- 問20 <答:エ> 「BRICS」とは、経済発展がいちじるしいブラジル・ロシア・インド・中国・南アフリカ共和国の頭文字を合わせた5か国の総称です。
- 問21 <答:国連児童基金> 「ユニセフ」と間違えて解答した人が多かったです。

(第2問) 48点 すべて2点

- (ア) <答: 聖武> 奈良時代に最も有名な天皇は東大寺を建てた聖武天皇でしょう。奥さんにあたる皇后は光明子(光明皇后)です。
- (イ) <答: 文明開化> 明治時代になり積極的に欧米の文化を日本に導入します。中心人物の1人が福沢諭吉です。
- (ウ) <答: 清盛> この問題は大変良くできていました。
- (エ) <答: 唐古> この問題ができている人はほとんどいませんでした。奈良県にある環濠集落は唐古・鍵遺跡です。
- (オ) <答: 天武> 壬申の乱で勝利したのはもと大海人皇子である天武天皇です。
- (カ) <答: 蘇我入鹿(蘇我氏)> 大化の改新がスタートするきっかけは蘇我氏の暗殺でした。なかでも蘇我入鹿は大きな権力を握っていました。
- (キ) <答: 吉野> 吉野は奈良県の南部の山中にあります。
- (ク) <答: 後醍醐> 足利尊氏と争ったのは後醍醐天皇です。よくできていました。
- (ケ) <答: 応仁> 京都を舞台として1467年から11年間にわたり戦いつづけたのは応仁の乱です。「仁」を「任」と間違っている人が多くいました。
- (コ) <答: 伊勢> 日本の神社のなかでも天皇家の祖先が祀られているということから、昔から大変あがめられていたのが伊勢神宮です。
- 問1 <答: イギリス> 日本は日露戦争の直前の1902年にイギリスと同盟を結び、ロシアへの対抗姿勢を明らかにします。
- 問2 <答: 平城京> 問題のきき方を難しく感じた人がいるかもしれませんが、現在の奈良市に都がおかれたということなので平城京です。
- 問3 <答: ア> 日中共同声明発表は1972年の田中角栄内閣のときで、日米安全保障条約調印は1951年の吉田茂内閣のときで、沖縄戦は戦前のことです。
- 問4 <答: エ> 日本に仏教を伝えた国は朝鮮半島にあった百済という国です。
- 問5 <答: イ> 「平民宰相」から原敬総理大臣を選ぶことができます。
- 問6 <答: ア> ポーツマス条約は日露戦争の後の講和条約なので日露戦争後の1905年に調印されます。
- 問7 <答: イ> 西南戦争は西郷隆盛が鹿児島で1877年に起こした士族の反乱なので他と比べて、時代がずいぶん古いです。
- 問8 <答: エ> 中国最後の王朝は清であり、辛亥革命で溥儀は退位します。
- 問9 <答: ウ> 安土城を築いたというところから答えられると思います。
- 問10 <答: ア> 佐賀県にある環濠集落は吉野ヶ里遺跡です。三内丸山遺跡は縄文時代を代表する青森県の遺跡で、登呂遺跡は静岡県にある水田跡です。加曾利貝塚も貝塚なので誤りです。
- 問11 <答: エ> 卑弥呼や邪馬台国のことは『魏志』倭人伝に書かれています。卑弥呼は中国の魏という国に使者をおくっていたので記録が残っています。
- 問12 <答: ウ> 鎌倉幕府が京都に設置したのは六波羅探題です。
- 問13 <答: ア> 江戸時代に鹿児島に置かれていた藩と言えは薩摩藩です。
- 問14 <答: イ> 商人の経済力に目を付け、そこから税金をとろうとしたのは田沼意次です。